

公募開始

ノーステック財団は、「研究開発から事業化までの一貫した支援」を活動理念とし、関係機関との連携の下、科学技術の振興と技術シーズの事業化支援を通じ、北海道の振興と活力ある地域経済の発展に取り組んでいます。

本事業は、ノーステック財団が札幌市からの補助事業を活用して、「さっぽろ連携中枢都市圏」を構成する市町村※1内の企業等が行う**技術・製品の開発等の取り組みを支援**（補助）するものです。

※1 札幌市および連携市町村
小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町

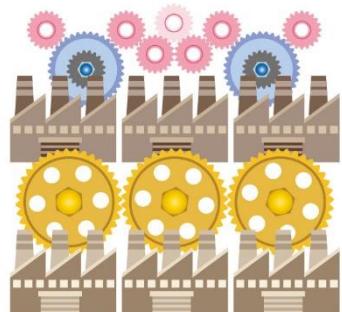
ものづくり開発推進事業

公募締切：2022年5月13日(金)

対象分野【限度額：500万円】

下記の分野における新製品・新技術の開発（既製品の改良を含む）に関する取り組み（実用化・事業化の可能性が高いもの）

- 食関連分野 ■ 健康福祉・医療関連分野
- 製造関連分野 ■ I T 関連分野 ■ 介護支援関連分野



環境（エネルギー）技術・製品開発支援事業

公募締切：2022年5月18日(水)

対象分野【限度額：1,000万円】

環境（エネルギー）分野※2における下記の取り組み

- **技術・製品開発支援**
製品・技術・システムの開発および実証実験の取り組み



各事業の詳細はHPをご覧ください <http://www.noastec.jp/>

【問い合わせ先】ノーステック財団 ビジネスソリューション支援部 桑田・福山・町田
TEL : 011-792-6119 E-mail : hcluster@noastec.jp



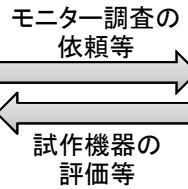
令和4年度 ノーステック財団 支援事業の概要（札幌市補助事業）

事業名	環境（エネルギー）技術・製品開発支援事業	ものづくり開発推進事業
事業目的	<p>「環境（エネルギー）分野」において札幌市および連携市町村内の企業等が行う製品・技術開発の取り組みを支援することにより、環境（エネルギー）関連産業の活性化や市民生活の向上を図っていくことを目的とする。</p> <p>※「さっぽろ連携中枢都市圏」を構成する市町村：札幌市および連携市町村 連携市町村：小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町</p>	札幌市の様々な産業をけん引する「重点分野」及び、札幌市産業全体の底上げが期待される「ものづくり分野」及び「介護支援関連分野」において、札幌市および連携市町村内の中小企業者等が行う新製品・新技術開発（既製品の改良を含む）の取り組みを支援することによって、さっぽろ連携中枢都市圏の経済活性化を図っていくことを目的とする。
補助金名	環境（エネルギー）技術・製品開発支援事業	ものづくり開発推進事業
対象者	<p>下記の要件のいずれかを対象とする。</p> <p>(1) 札幌市および連携市町村内企業等※1 (2) 札幌市および連携市町村内企業等を代表として 企業・大学研究機関等により構成したコンソーシアム（コンソーシアム構成員の所在地は問わない）※2</p> <p>※1. 札幌市および連携市町村内企業等：法人格を有し設立後1年以上経過した企業、組合等であること、札幌市および連携市町村内に本社を有していること。 事業を実施するための経営資源・人材等を有していること等の要件を満たすこと。</p> <p>※2. コンソーシアム構成員：企業等については法人格を有し設立後1年以上経過した企業・組合等であること、大学等研究機関については、大学・短期大学、独立行政法人等に該当すること。</p> <p>※3. 中小企業者：「資本金3億円以内」、「従業員300人以下」のいずれかを満たす者。</p> <p>※4. 組合等：「中小企業団体の組織に関する法律」第3条第1項に定める事業協同組合等であり、総組合員の過半数が、※1を満たす等他、補助対象事業の実施場所が札幌市および連携市町村内であること。 (詳細は必ず応募要領を参照すること)</p>	<p>下記の要件を対象とする。</p> <p>(1) 札幌市および連携市町村内企業等※1のうち、中小企業者※3、組合等※4</p>
補助対象分野	<p>環境（エネルギー）分野（省エネルギー、創エネルギー、蓄エネルギー、エネルギー・マネジメント及びそれらを組み合わせたもの）における下記の取り組み。</p> <p>製品・技術・システムの開発及び実証実験</p>	<p>下記の分野における新製品・新技術開発（既製品の改良を含む）に関する取り組み。（原則、実用化・事業化の可能性の高いもの）</p> <p>(1) 食関連分野 (2) 健康福祉・医療関連分野 (3) 製造関連分野 (4) I T 関連分野 (5) 介護支援関連分野</p>
採択予定件数	札幌市内・連携市町村内企業合わせて：2件	<p>上記(1)～(4) 札幌市内企業：4件程度、連携市町村内企業：2件程度 上記(5) 札幌市内・連携市町村内企業合わせて：2件程度</p>
補助金額（限度額）	1件あたり1,000万円以内	1件あたり500万円以内
補助率	補助対象経費の2/3以内	<p>上記(1)～(4) 補助対象経費の1/2以内 (バリアフリー等に資する開発は補助対象経費の2/3以内) 上記(5) 介護支援関連分野は補助対象経費の2/3以内</p>
補助対象期間	<p>令和4年4月1日 から 令和5年3月10日</p> <p>※ただし、補助対象経費の支出については、令和5年2月末日までに支払を終えた経費を対象とする。</p>	補助金交付決定の日 から 令和5年3月10日
応募期間	令和4年4月11日（月）から令和4年5月18日（水）17時必着	令和4年4月4日（月）から令和4年5月13日（金）17時必着
問い合わせ先	〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目 北海道大学構内 コラボほっかいどう ノーステック財団（公益財団法人北海道科学技術総合振興センター） ビジネスソリューション支援部 TEL: 011-792-6119 E-mail:hcluster@noastec.jp	

介護ロボットの開発支援について

民間企業・研究機関等 <経産省中心>

○日本の高度な水準の工学技術を活用し、高齢者や介護現場の具体的なニーズを踏まえた機器の開発支援



介護現場 <厚労省中心>

○開発の早い段階から、現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場での実証(モニター調査・評価)

開発重点分野

移乗支援

○装着



- ・ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器

○非装着



- ・ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器

移動支援

○屋外



- ・高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器

○屋内



- ・高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内の姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器

○装着



- ・高齢者等の外出をサポートし、転倒予防や歩行等を補助するロボット技術を用いた装着型の移動支援機器

排泄支援

○排泄物処理



- ・排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置調節可能なトイレ

○トイレ誘導



- ・ロボット技術を用いて排泄を予測し、的確なタイミングでトイレへ誘導する機器

見守り・コミュニケーション

○施設



- ・介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム

○在宅



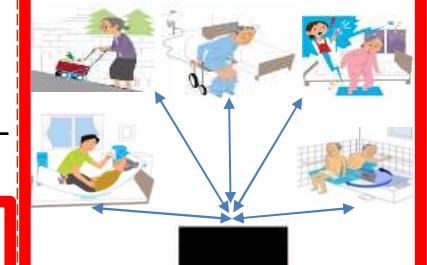
- ・在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム

入浴支援



- ・ロボット技術を用いて浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器

介護業務支援



- ・ロボット技術を用いて、見守り、移動支援、排泄支援はじめとする介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に、高齢者等の必要な支援に活用することを可能とする機器

○動作支援



- ・ロボット技術を用いてトイレ内での下衣の着脱等の排泄の一連の動作を支援する機器

○生活支援



- ・高齢者等とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器